

2012年度 決算説明会

第89期(2012年4月1日～2013年3月31日)

2013.5.16



太平洋互業株式会社

目 次

1. 会社の概要
2. 2012年度業績実績
3. 2013年度業績予想
4. 長期ビジョン・中期経営計画
5. トピックス

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概要

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 43億2千万円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業		その他	合計
事業			タイヤバルブ・制御機器事業	TPMS事業		
単 独	売上高('12)	405億円 68%	102億円 17%	92億円 15%	—	599億円
	主要工場	西大垣、東大垣 養老、九州、東北	美濃、北大垣	北大垣	—	国内7工場
連 結	売上高('12)	596億円 71%	237億円 29%		3億円 0%	837億円
	人 員	2,120人	935人		75人	3,130人
	海外生産拠点	台湾、米国 中国	台湾、韓国、タイ	米国	—	5ヶ国 7会社
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ プライムアースEVIナジー	ブリヂストン、横浜ゴム、住友ゴム、東洋ゴム イノアック、ミシュランタイヤ、トピー工業 デンソー、豊田自動織機、サンデン、HVCC ヴァレオ、パナソニック、東芝	トヨタ ホンダ 日産	地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ、バルブコア 空調用制御弁 カーエアコン用コンプレッサー部品	TPMS	ゴルフ場 ソフトウェア 保険代理店	

1-2 企業結合の状況

■ プレス樹脂製品事業 ■ バルブ製品事業

1. 連結会社: 13社

区分	会 社 名	事業分野			主な事業内容	設立	議決権 比率	'12 売上高 実績	人員
		プレス	バルブ	その他					
国内	ピーアイシステム株式会社 (PSC)			●	情報処理、ソフト開発・販売、保険代理	1987年	100%	4億円	55人
	太平洋開発株式会社 (PDC)			●	ゴルフ場資産管理(養老CC)	1972年	66.5%	2億円	20人
	太養興産株式会社 (TYC)			●	ゴルフ場運営(養老CC)	2005年	(PDC) 100%	—	—
	太平洋産業株式会社 (TSC)	●			自動車用プレス製品の製造・販売	1974年	100%	12億円	25人
	国内連結会社 計							18億円	100人
海外	米国	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)		下記米国会社の統括管理	1988年	100%	—	—
		Pacific Manufacturing Ohio Inc. (PMO)	●	●	自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1999年	(PIU) 100%	177億円	500人
	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 (PVT)	●	●	自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1984年	99.5%	46億円	230人
	韓国	太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●	バルブ関連製品の製造・販売	1987年	100%	12億円	80人
		太平洋エアコントロール工業株式会社 (PAC)		●	カーエアコン部品の製造	2004年	(PVI 8%) 92%	21億円	170人
	タイ	Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd. (PIT)		●	バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	13億円	160人
	中国	太平洋工業(中国)投資有限公司 (PCC)	(持株会社)		下記中国会社の統括管理	2012年	100%	0億円	5人
		長沙太平洋半谷汽車部件有限公司 (CPH)	●		自動車用プレス製品の製造・販売	2011年	(PCC 74%) (TPA 1.1%) 1.3%	0億円	30人
		天津太平洋汽車部件有限公司 (TPA)	●		自動車用プレス製品の製造・販売	2005年	100%	34億円	240人
	海外連結会社 計							306億円	1,415人

2. 持分法適用会社: 1社

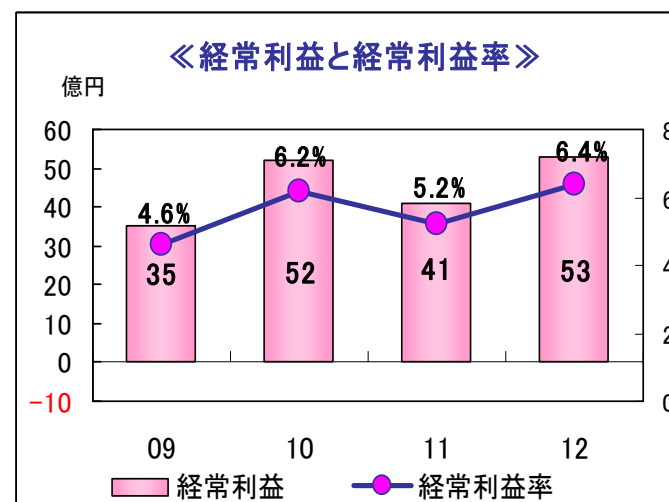
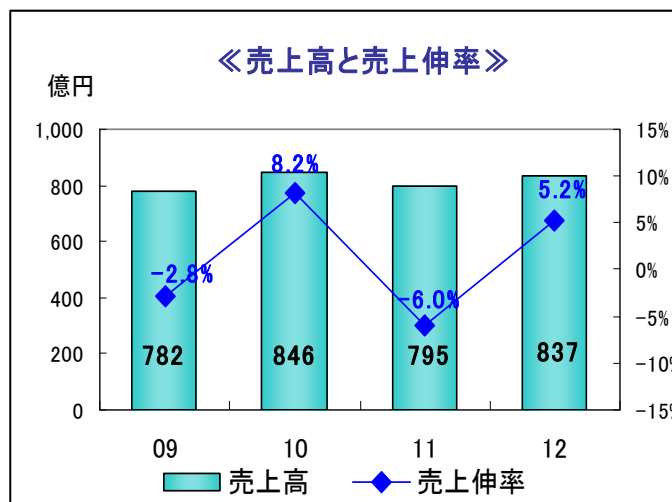
国内	PECホールディングス株式会社 (PEC)	●	●		オートフューズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	22.6%	155億円	650人
----	-----------------------	---	---	--	----------------------	-------	-------	-------	------

2-1 連結業績実績

* 過去最高

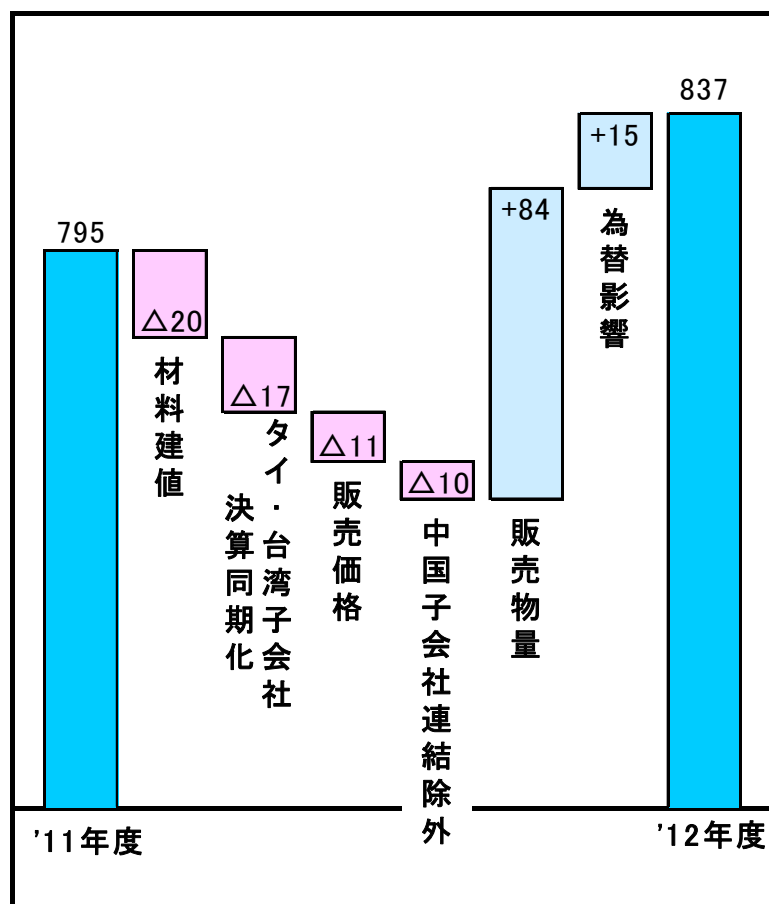
[百万円]

	'11年度	'12年度							
		13年2月 発表値	実績	連単 倍率	前期比		発表値比		
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	79,579	80,000	83,700	1.4	4,121	5.2%	3,700	4.6%	
営業利益	3,699	4,200	4,340	1.2	640	17.3%	140	3.3%	
経常利益	4,147	5,000	* 5,372	1.2	1,225	29.5%	372	7.4%	
当期純利益	3,297	2,600	2,807	1.0	△489	△14.8%	207	8.0%	
売上経常利益高率	5.2%	6.3%	6.4%		1.2%		0.1%		
ROE	8.6%	6.2%	6.4%		△2.2%		0.2%		
ROA	4.8%	5.6%	5.7%		0.9%		0.1%		
一株当たり純資産	(円) 748	—	900		152		20.4%		—

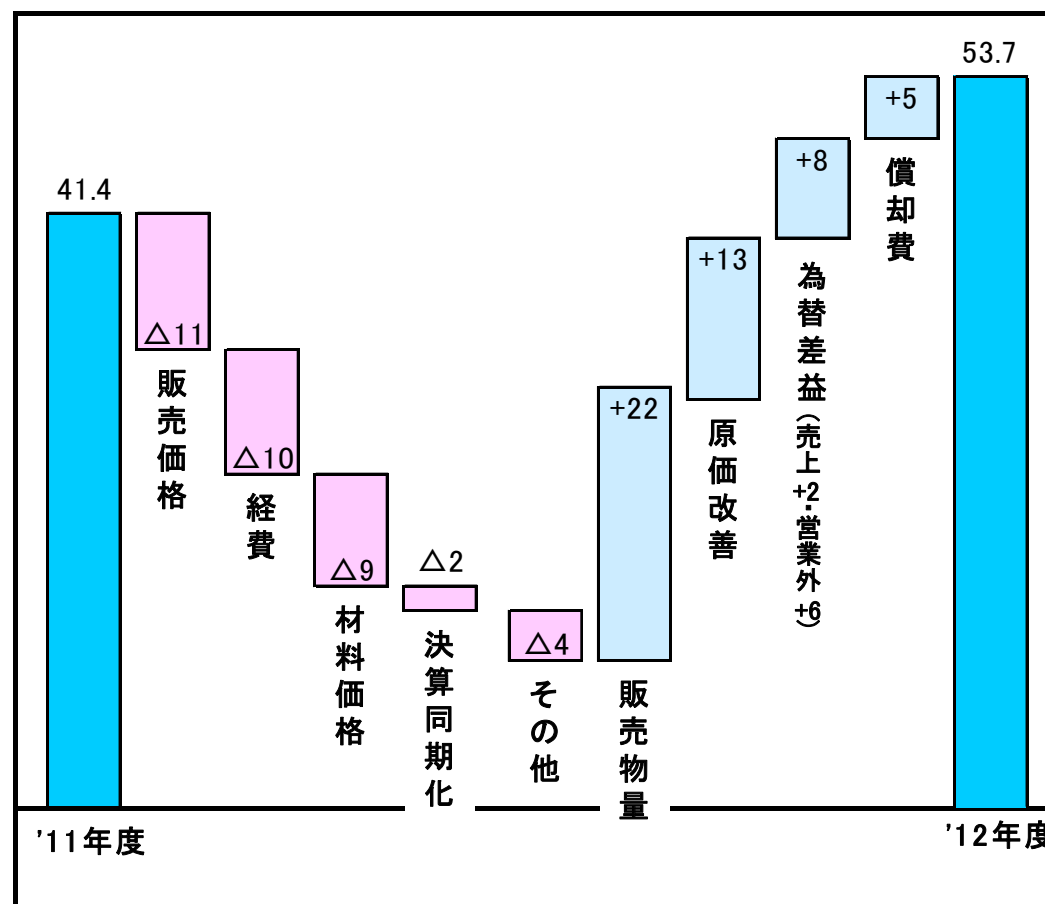


2-2 売上高・経常利益増減要因

《12年度 対 11年度》
売上高 +41億円



《12年度 対 11年度》
経常利益 +12億円

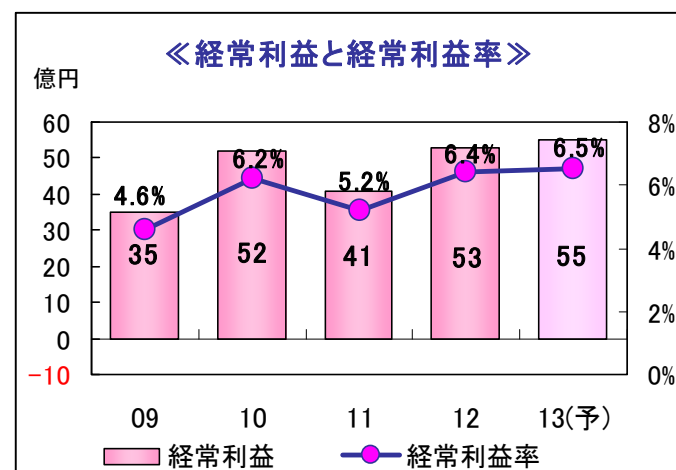
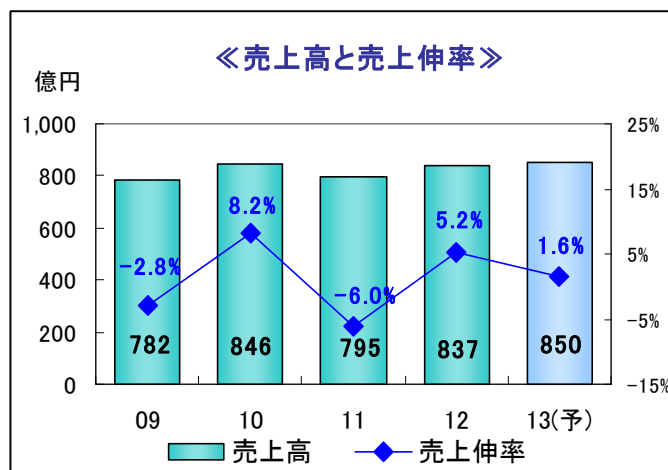


3-1 連結業績予想

* 過去最高

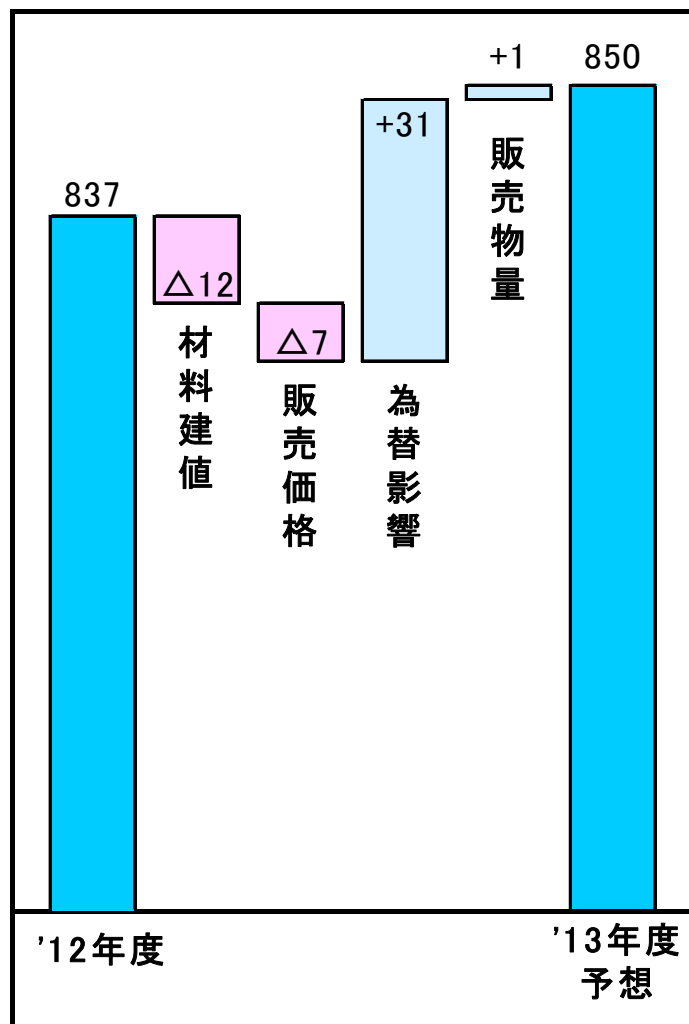
[百万円]

	' 11年度	'12年度					' 13年度				
		実績	前期比		連単 倍率	予想	前期比		連単 倍率		
			増減	増減率			増減	増減率			
売上高	79,579	83,700	4,121	5.2%	1.4	85,000	1,300	1.6%	1.5		
営業利益	3,699	4,340	640	17.3%	1.2	5,000	660	15.2%	1.4		
経常利益	4,147	* 5,372	1,225	29.5%	1.2	5,500	128	2.4%	1.3		
当期純利益	3,297	2,807	△489	△14.8%	1.0	3,600	793	28.2%	1.4		
経常上利益高率	5.2%	6.4%	1.2%			6.5%	0.1%				
ROE	8.6%	6.4%	△2.2%			7.3%	0.9%				
ROA	4.8%	5.7%	0.9%			5.5%	△0.2%				
一株当たり純資産(円)	748	900	152	20.4%		956	56	6.1%			

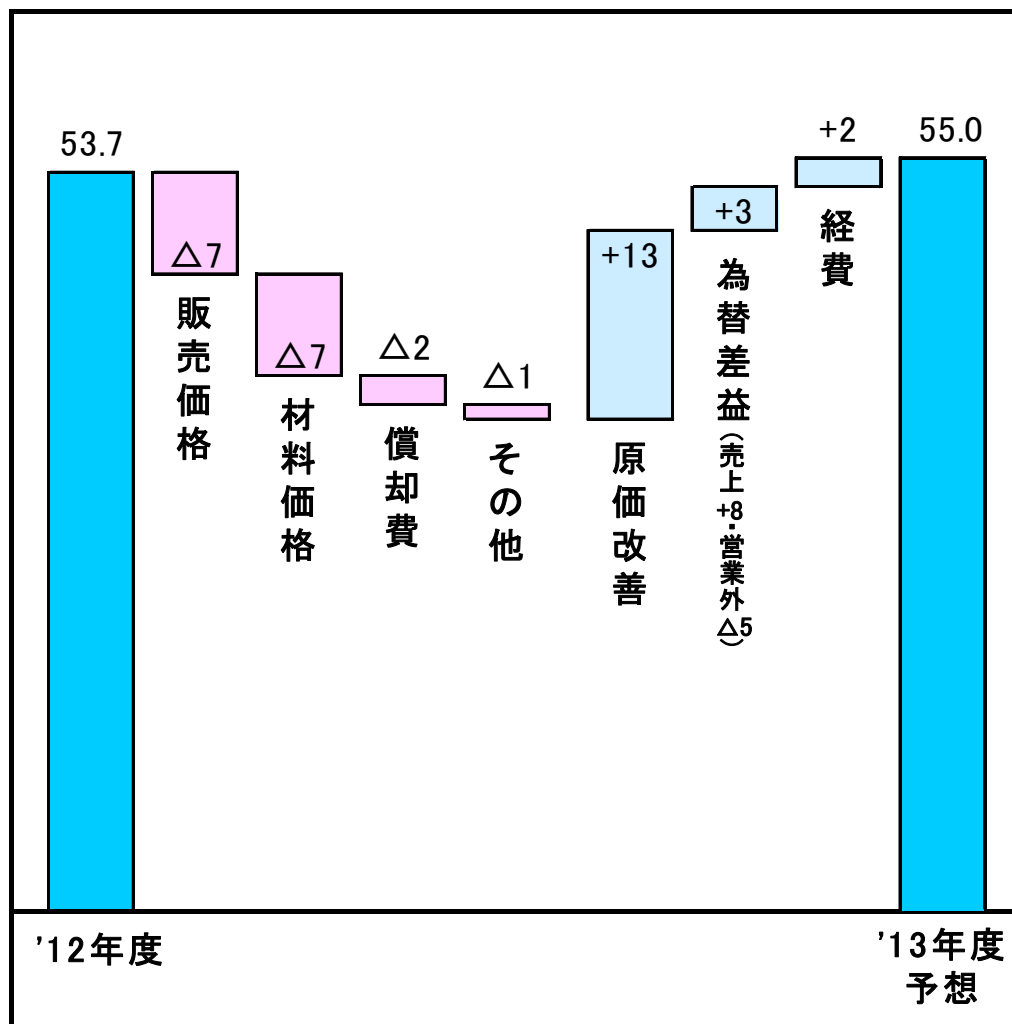


3-2 売上高・経常利益増減要因

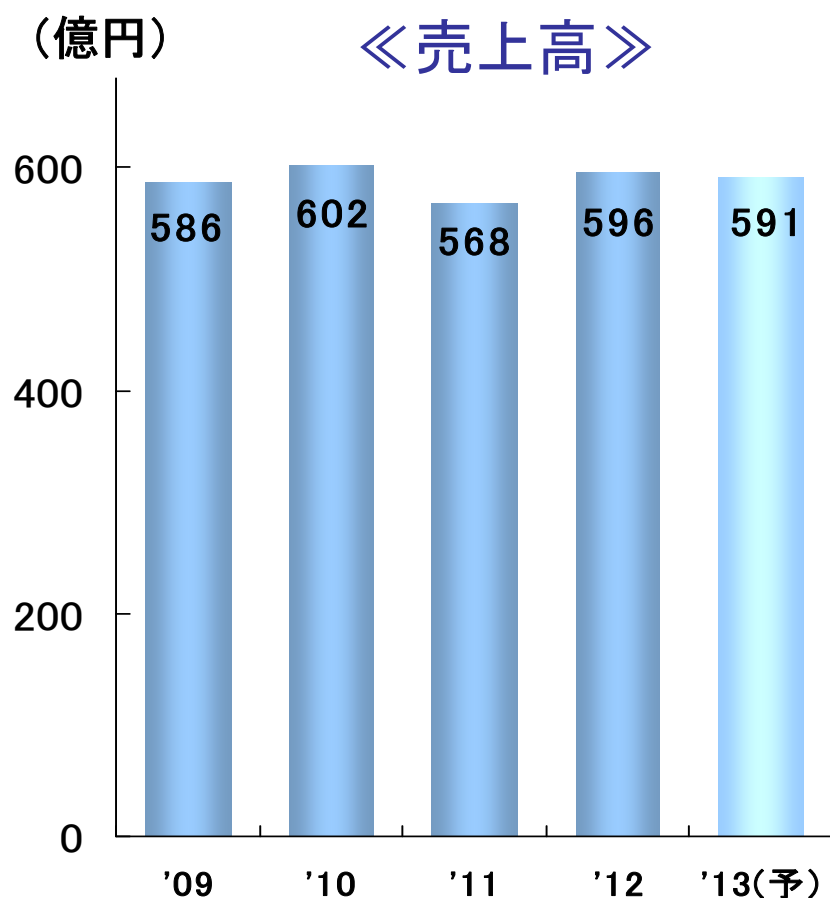
《13年度予想 対 12年度》
売上高+13億円



《13年度予想 対 12年度》
経常利益+1億円

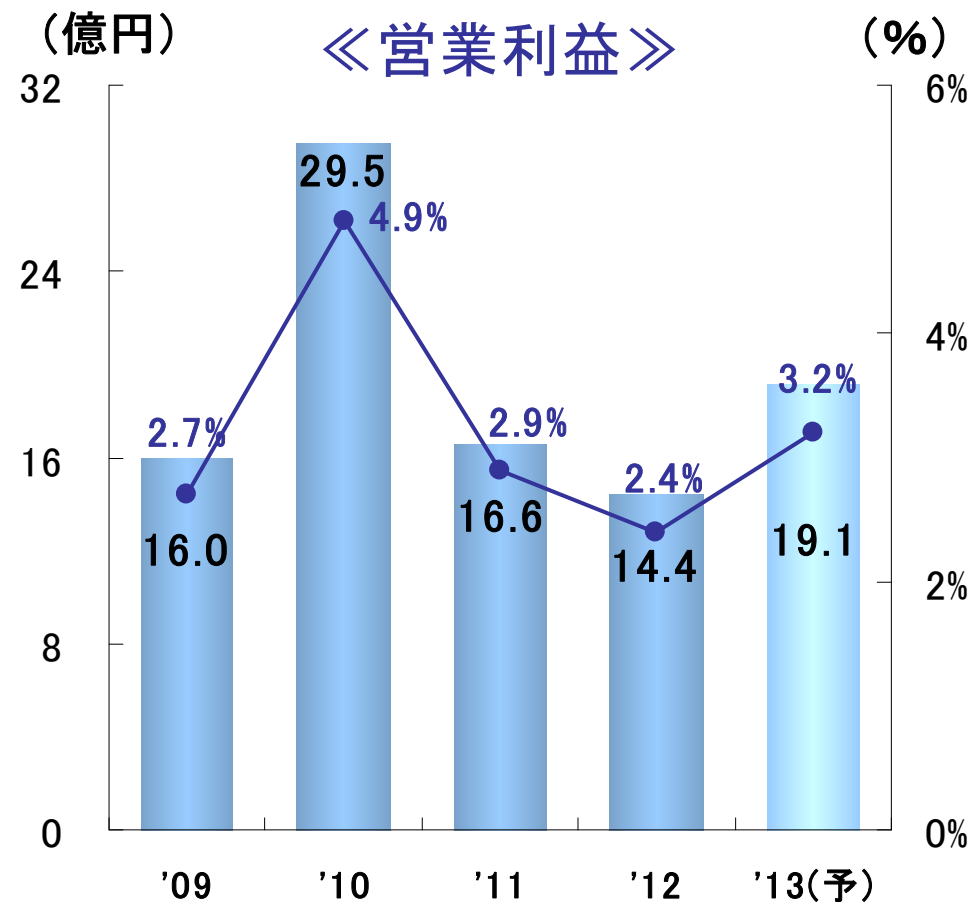


3-3 連結事業別セグメント予想: プレス樹脂製品事業



<売上高>

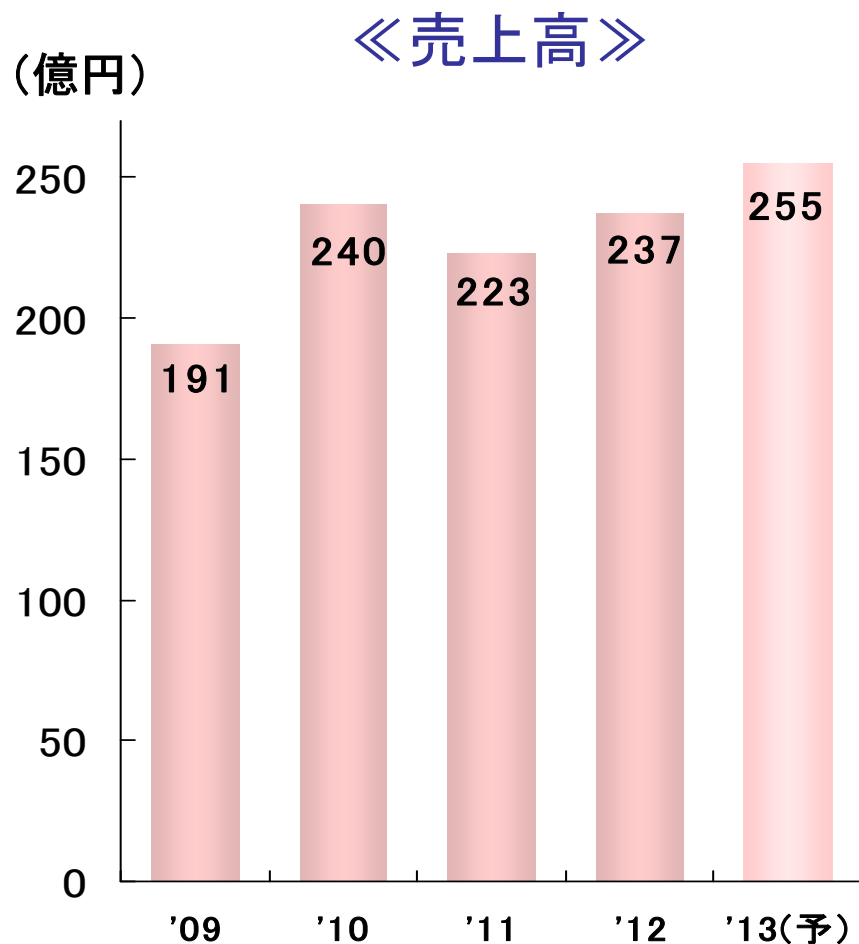
- ・2012年度は、子会社の決算同期化影響や中国での日本製品不買運動の影響があったものの、日本、米国での販売物量の増加により、増収。
- ・2013年度は、中国での販売回復・拡販効果が期待されるものの、日本での自動車生産減により減収見込み。



<営業利益>

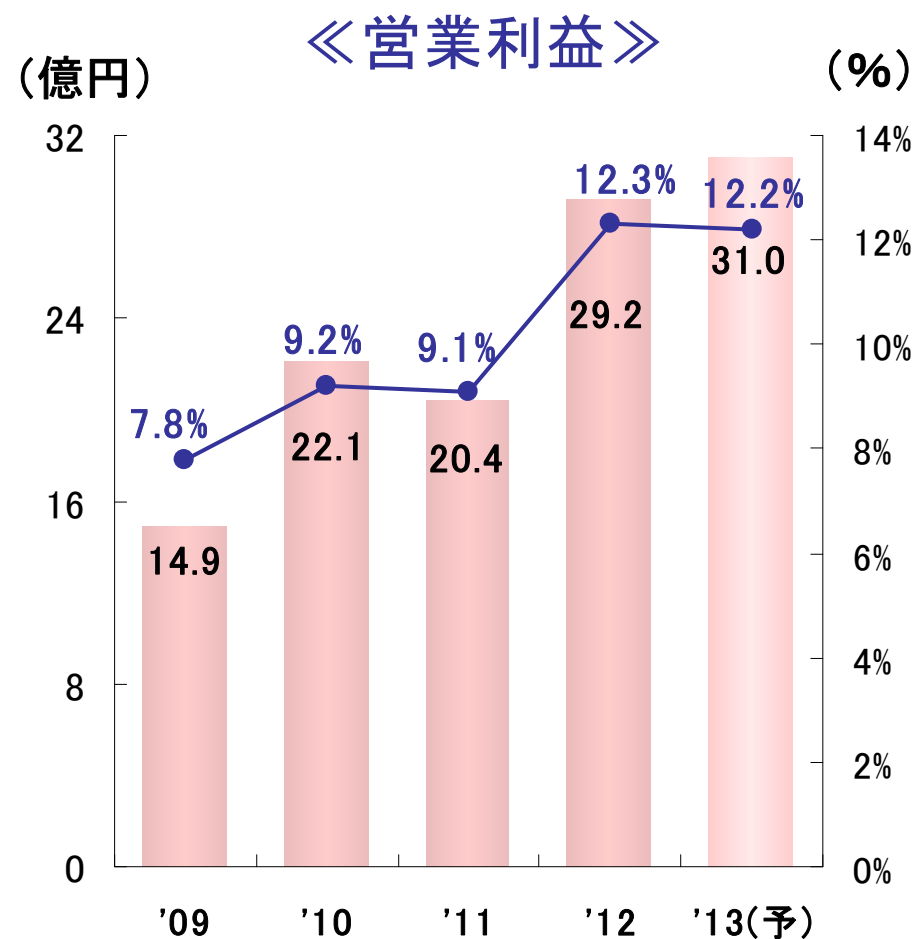
- ・2012年度は、日本、米国では増益となったが、子会社の決算同期化影響や、中国での型回収減・販売物量減および、子会社の事業立上げ費用増等により、全体では減益。
- ・2013年度は、日本での販売物量減を改善効果等でカバーし、中国での回復・拡販効果により、増益見込み。

3-4 連結事業別セグメント予想: バルブ製品事業



<売上高>

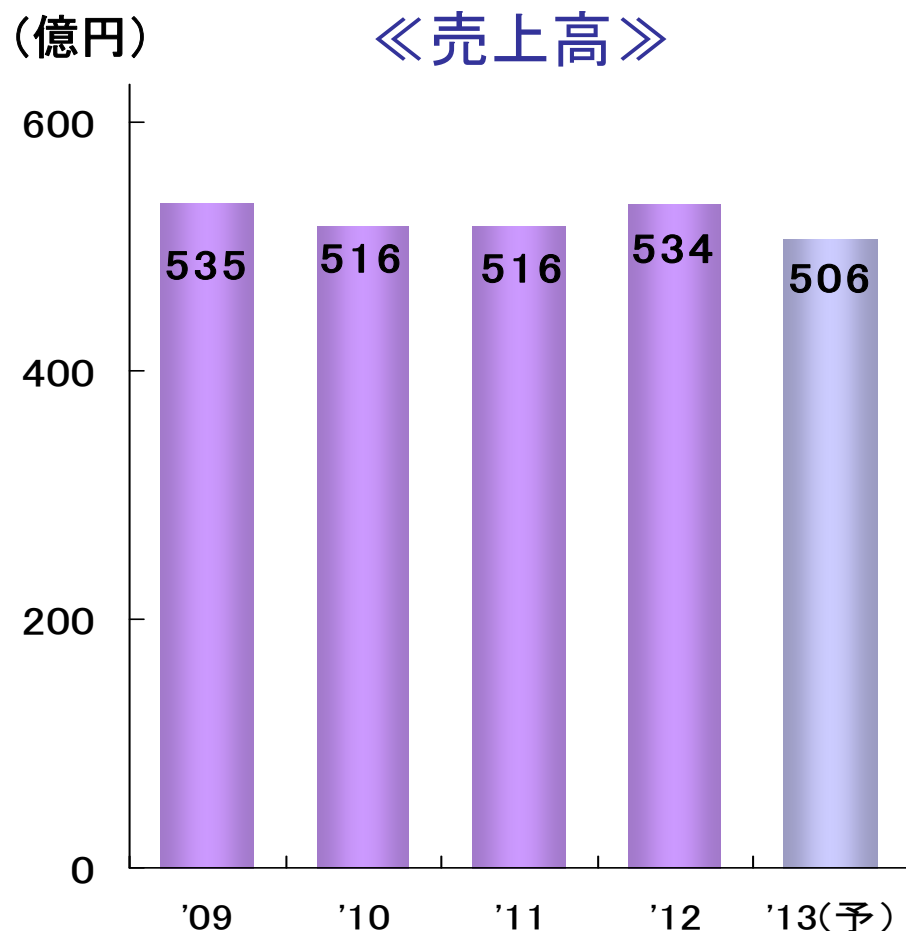
- ・2012年度は、連結子会社除外によるマイナス影響があったものの、TPMS製品をはじめ、バルブ製品全体が堅調に推移したことにより、増収。
- ・2013年度は、円安効果に加え、韓国での拡販が寄与し、増収見込み。



<営業利益>

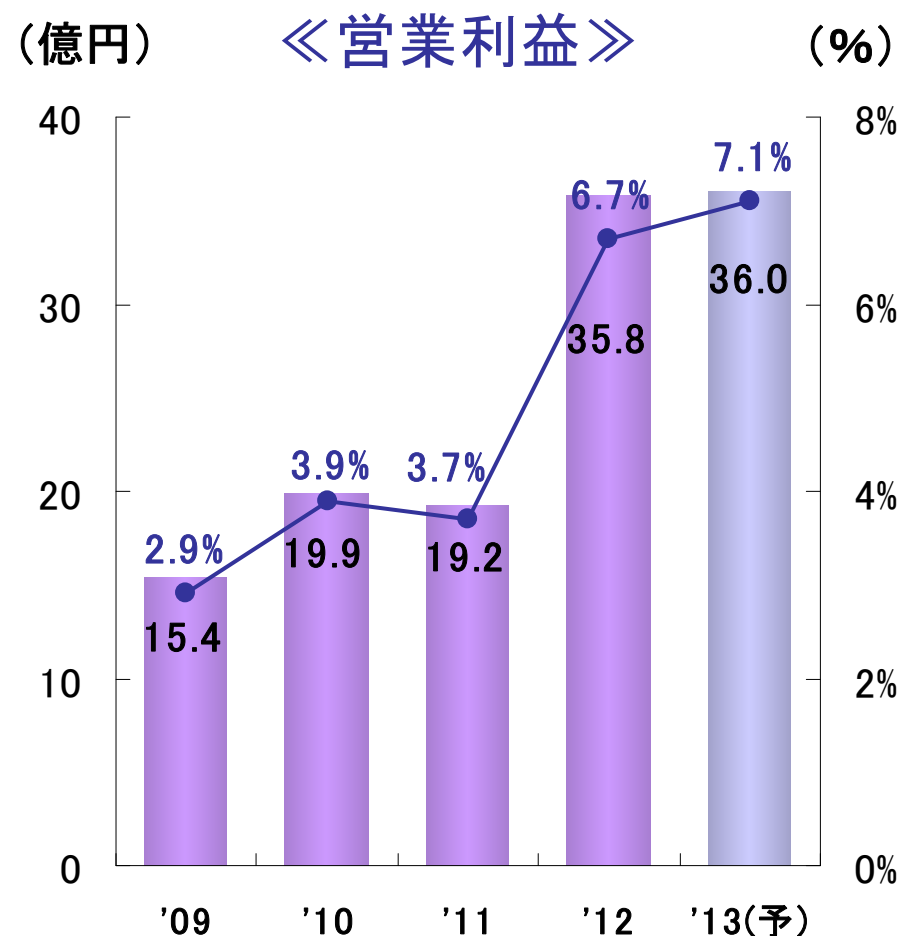
- ・2012年度は、円安による為替差益に加え、販売物量増加が寄与し、増益。
- ・2013年度も、円安効果に加え、販売物量増加が寄与し、増益見込み。

3-5 連結地域別セグメント予想：日本



<売上高>

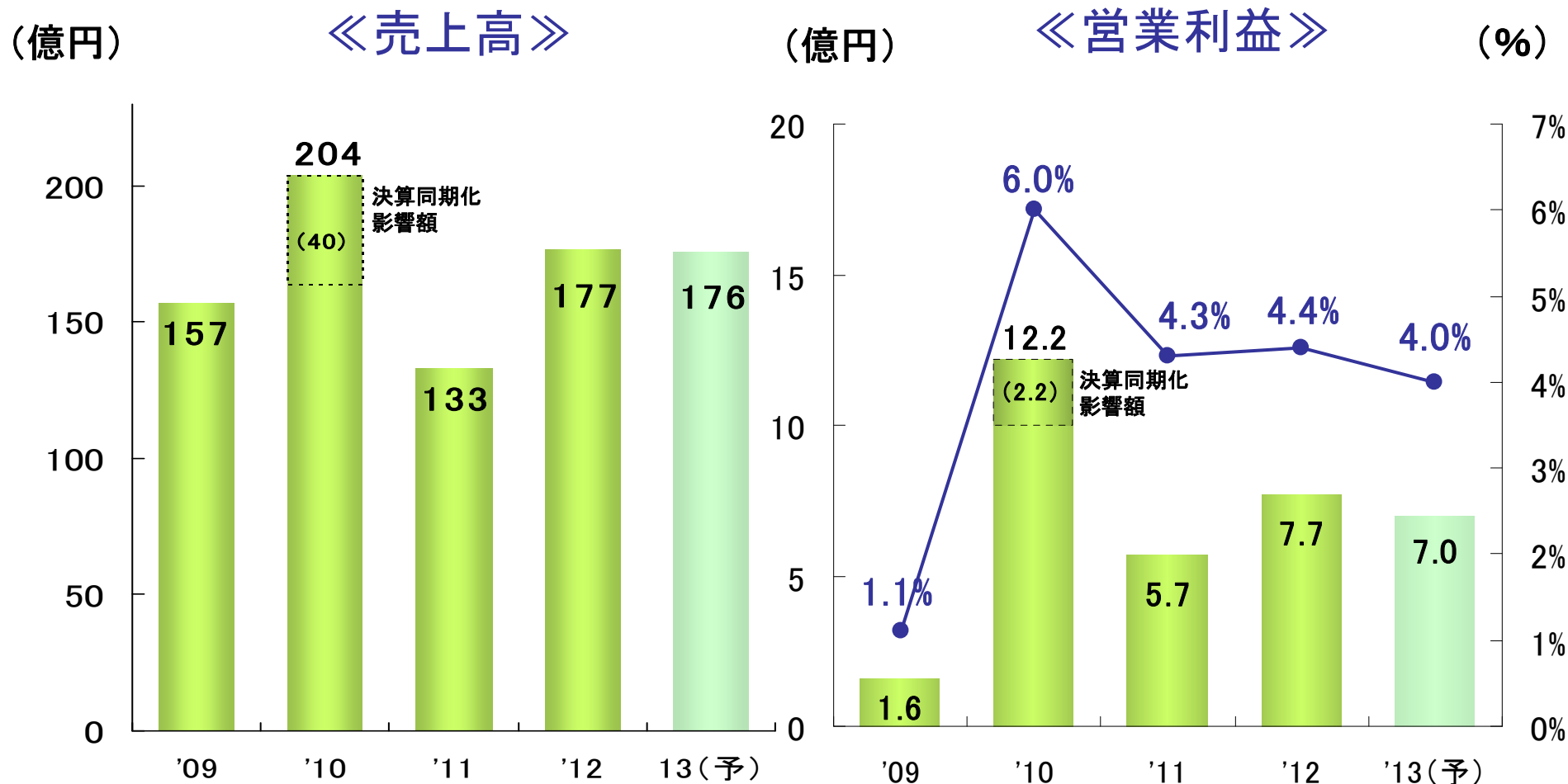
- ・2012年度は、材料建値下げによるマイナスがあるが、自動車生産増加による物量増が寄与し、増収。
- ・2013年度は、材料建値下げと主要顧客の自動車生産減少により、減収見込み。



<営業利益>

- ・2012年度は、売上高の増加に加え、原価改善、減価償却費減等により、増益。
- ・2013年度は、売上高は減少するものの、原価改善に加え、円安効果等により横ばいを確保。

3-6 連結地域別セグメント予想：北米



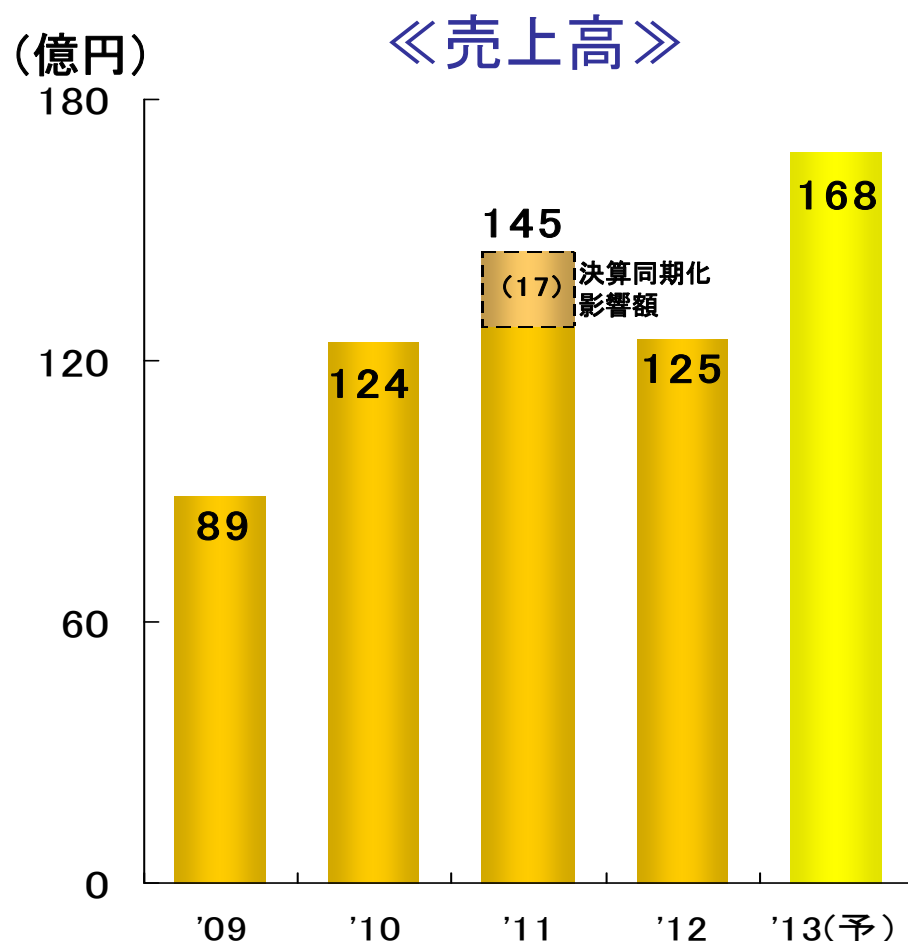
<売上高>

- ・2012年度は、米国景気持ち直しに伴う主要顧客での生産増加により、増収。
- ・2013年度は、車種構成の変化や客先からの価格協力要請を見込むが、為替換算差によるプラスもあって前年並の見込み。

<営業利益>

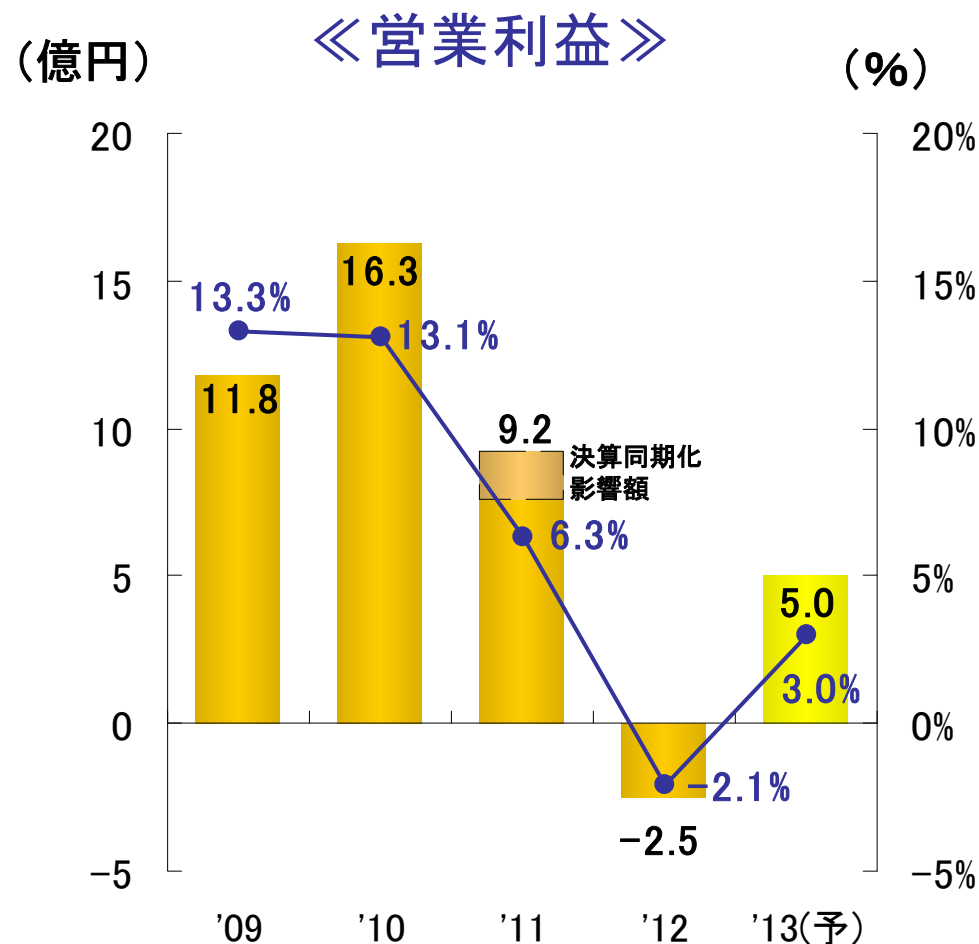
- ・2012年度は、販売物量の増加が寄与し、増益。
- ・2013年度は、販売価格の低下やTPMS生産移管に伴う初期コスト増等により若干の減益見込み。

3-7 連結地域別セグメント予想: アジア



<売上高>

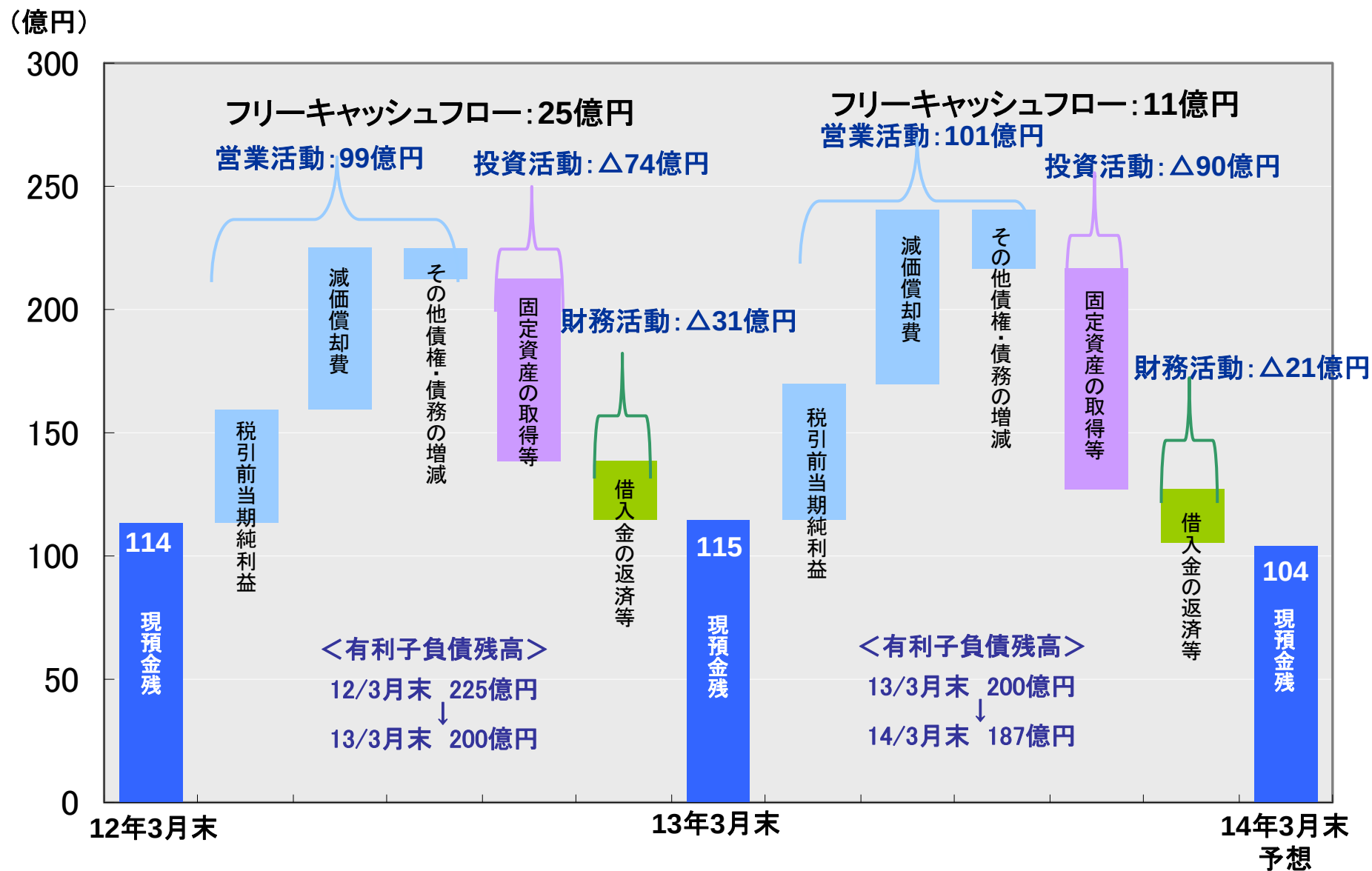
- ・2012年度は、タイ及び台湾の子会社の決算同期化影響、中国青島の子会社の連結除外などに加え、中国での日本車不買運動の影響により減収。
- ・2013年度は、中国での販売回復と拡販、韓国での拡販により、増収見込み。



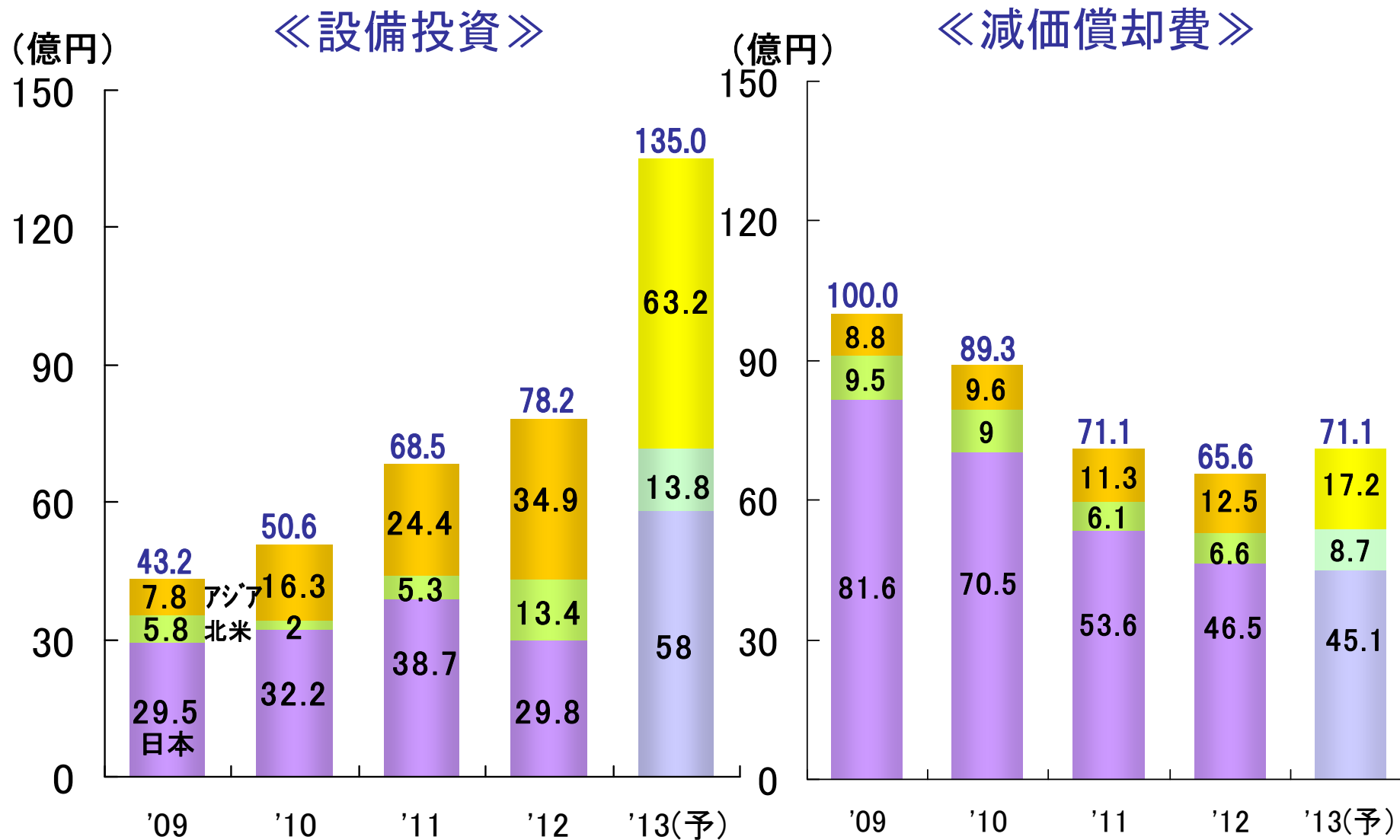
<営業利益>

- ・2012年度は、決算同期化影響、中国天津での型回収減・販売物流減・長沙での事業立上げ費用増加等により赤字化。
- ・2013年度は、中国での回復・新規顧客への拡販に加え、韓国での物量増を見込み赤字解消。

3-8 連結キャッシュフロー予想



3-9 連結設備投資・減価償却費予想

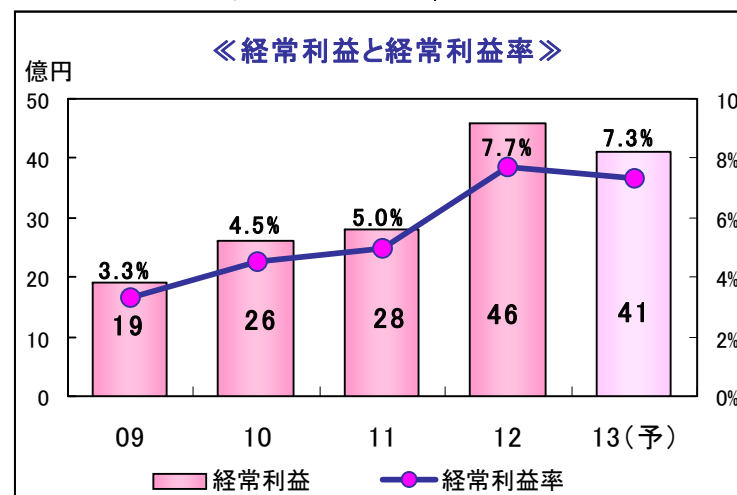
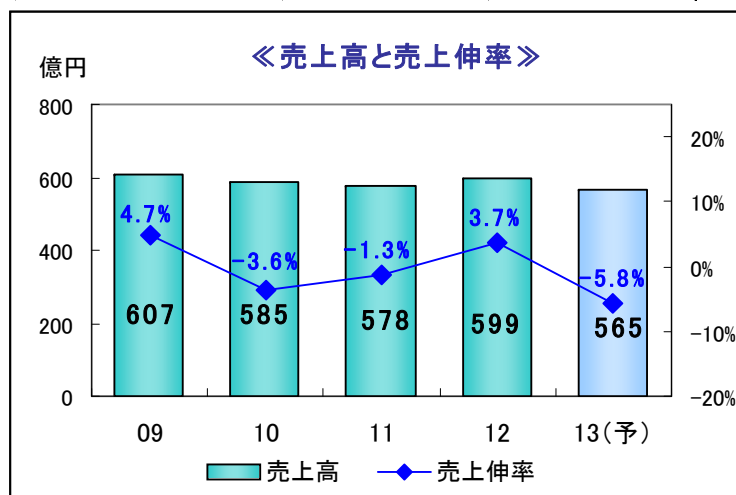


3-10 個別業績(参考)

* 過去最高

[百万円]

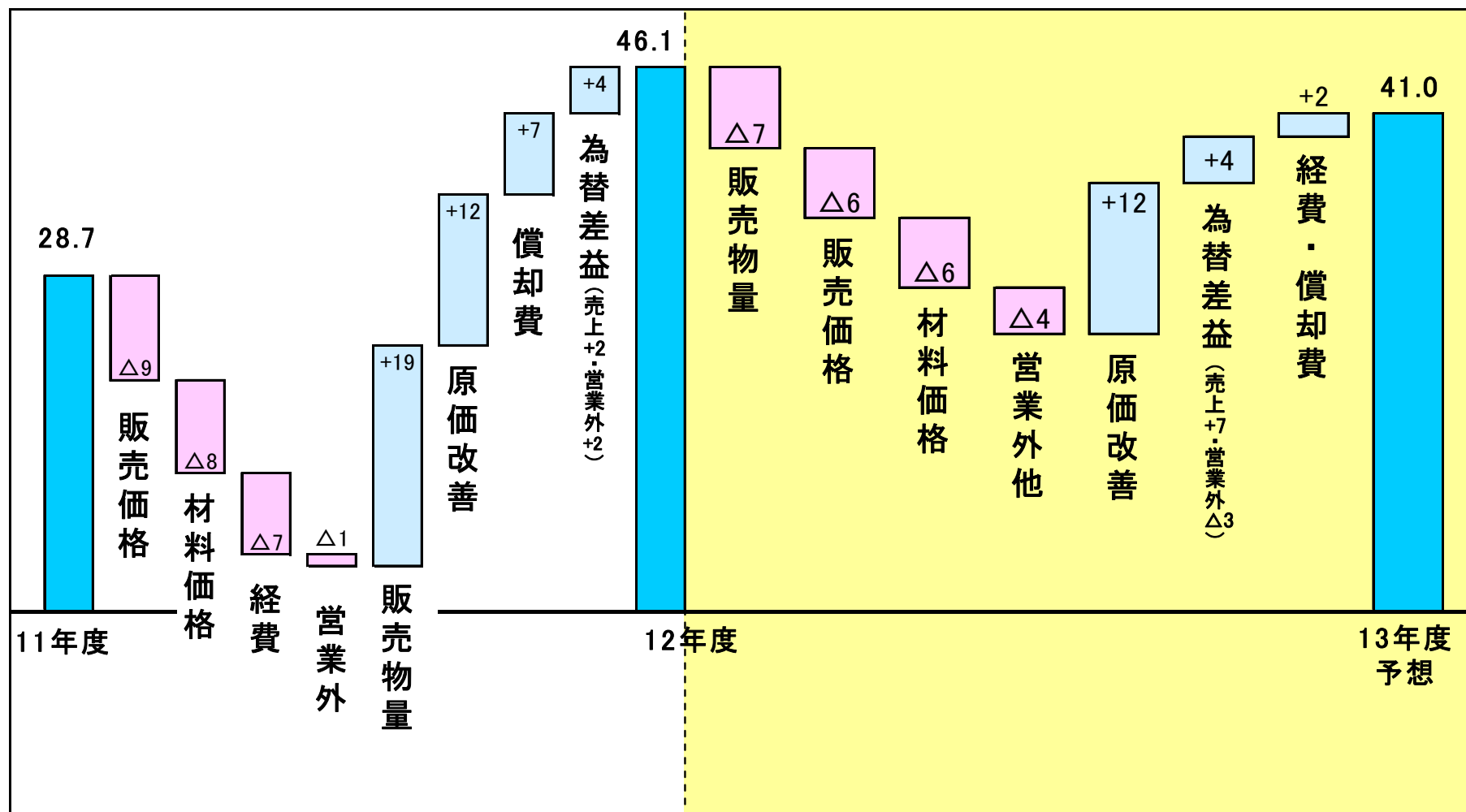
	'11年度	'12年度				'13年度		
		実績	前期比		予想	前期比		
			増減	増減率		増減	増減率	
売上高	57,840	59,966	2,125	3.7%	56,500	△3,466	△5.8%	
営業利益	1,934	* 3,605	1,670	86.4%	3,600	△5	△0.1%	
経常利益	2,872	* 4,616	1,744	60.7%	4,100	△516	△11.2%	
当期純利益	1,850	2,953	1,102	59.6%	2,600	△353	△12.0%	
配当金(1株当り)	10円	11円	+1.0	10.0%	12円	+1.0	9.1%	
経常利益率	5.0%	7.7%	2.7%		7.3%	△0.4%		
ROE	5.4%	7.7%	2.3%		6.2%	△1.5%		
ROA	3.8%	5.7%	1.9%		5.0%	△0.7%		
一株当り純資産	(円) 659	756	96	14.6%	792	36	4.8%	



3-11 個別経常利益増減要因

《11年度 対 12年度》
経常利益 +17億円

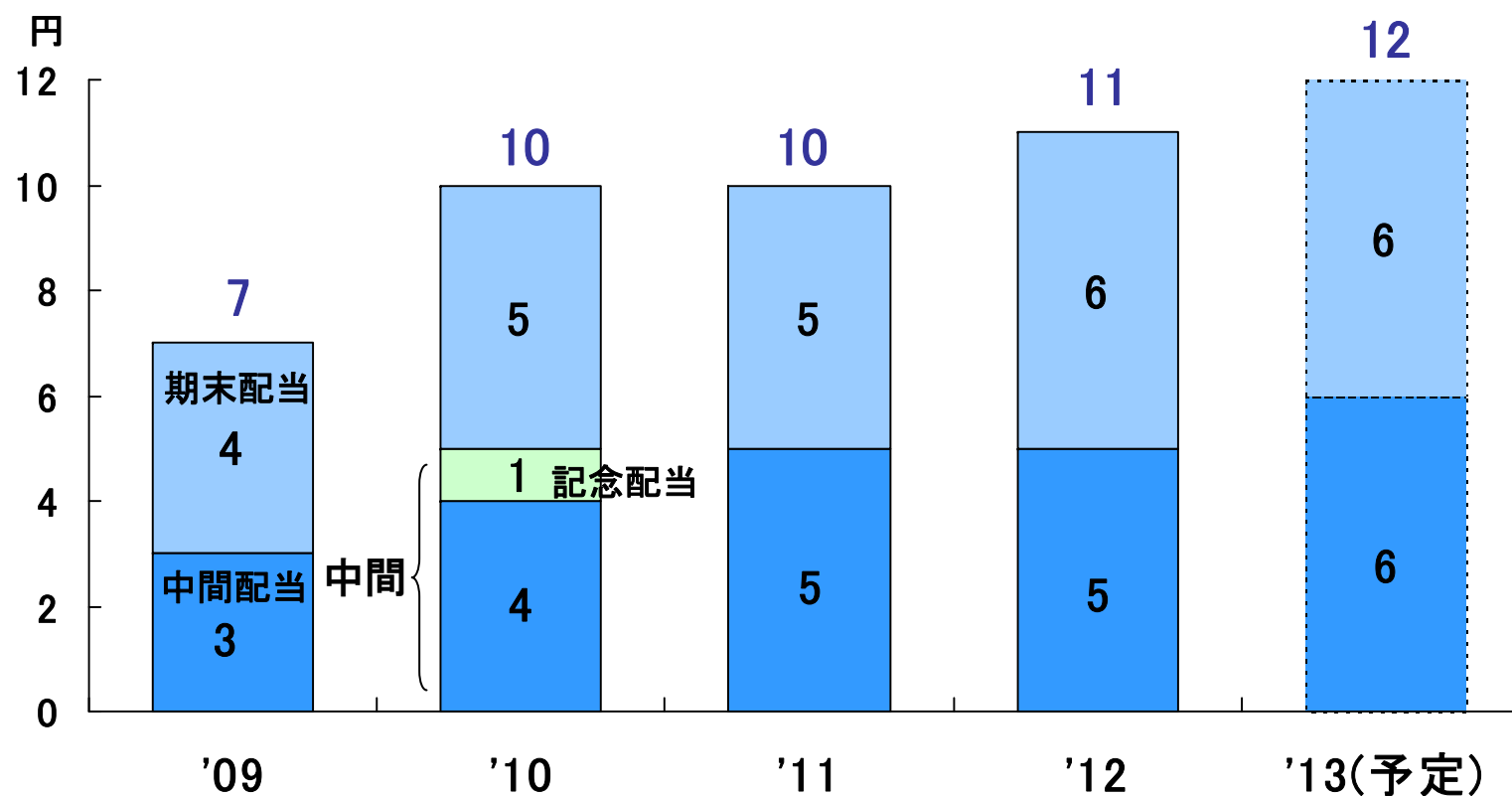
《12年度 対 13年度予想》
経常利益 △5億円



3-12 株主還元

2012年度配当 年間11円/株 連結配当性向20.9%

2013年度配当【予想】年間12円/株 連結配当性向17.8%



4-1 PACIFIC GLOCAL VISION 2020

＜創立100周年 2030年への一里塚として2010年に策定＞

めざす企業像・機能のあり方

- 「連結経営」から「融合経営」へ
- 5つの“シンカ”（深化・進化・新化・真価・信加）を追求する企業

5つの“シンカ”



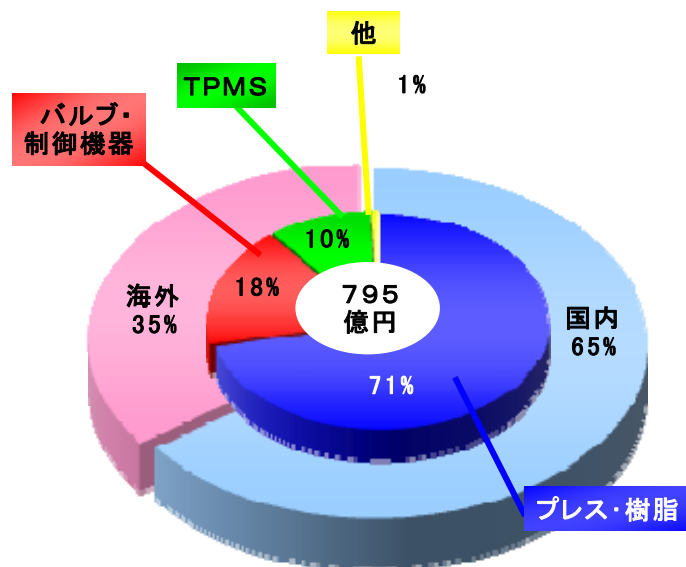
- ① 深化：改善する力
- ② 進化：革新する力
- ③ 新化：新技術・事業を起こす力
- ④ 真価：企業価値を高める力
- ⑤ 信加：信頼を勝ち取る力

CSRのトライアングル

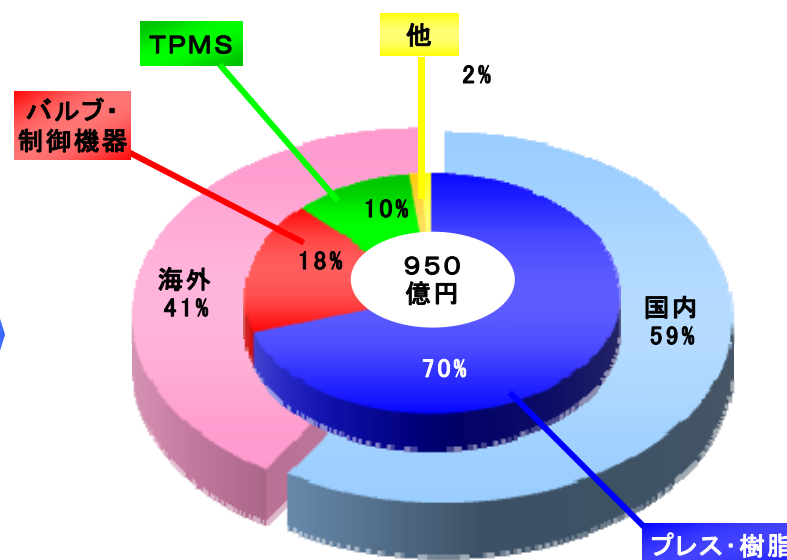


4-2 OCEAN-15：数値計画

【2011年度実績】



【2015年度予測】



2015年度 目標

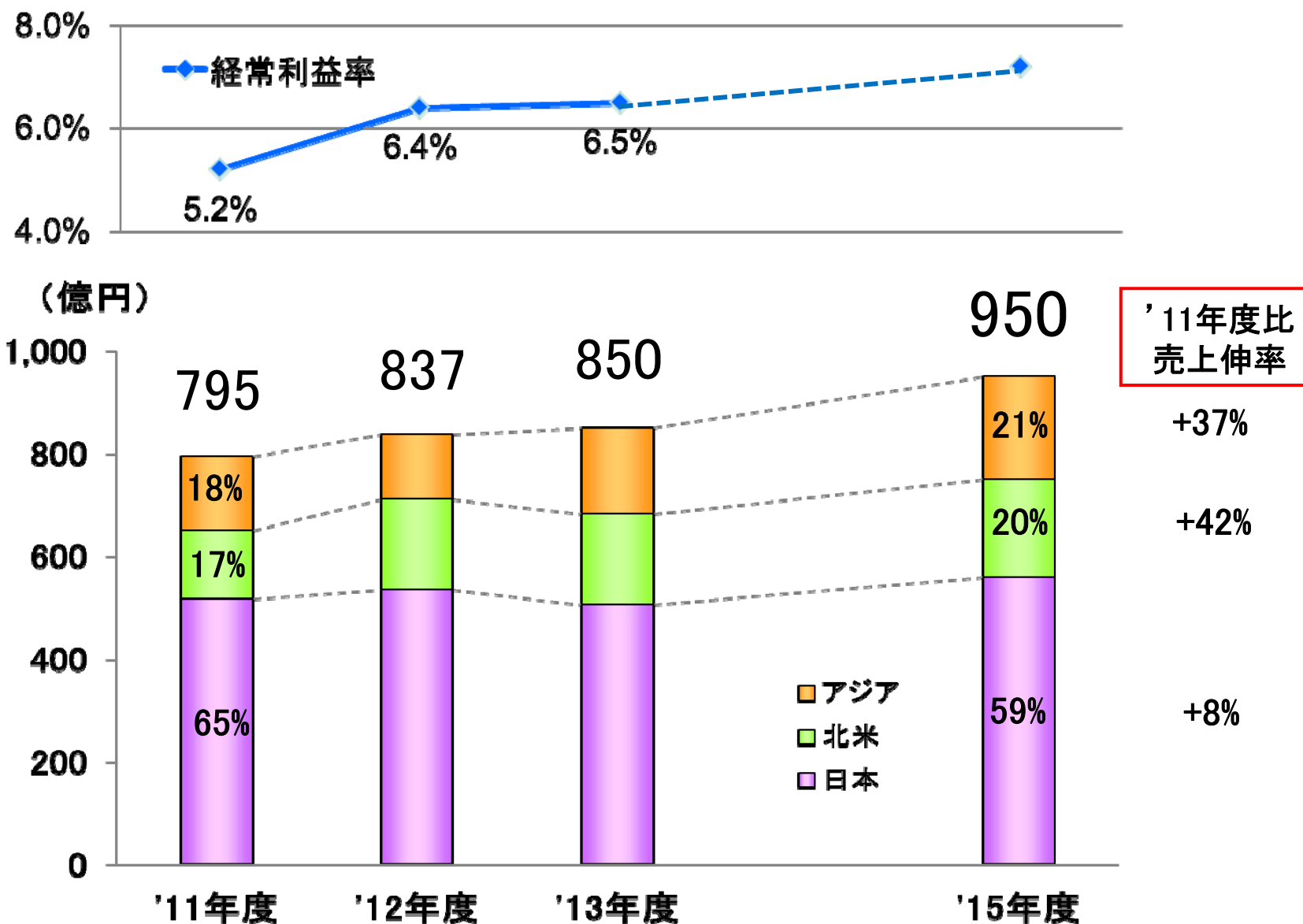
連結売上高 : 950億円
連結経常利益 : 6%台
海外売上高比率 : 40%以上
総資産回転率 : 1.05

4-3 OCEAN-15の実現に向けて

**「守りから攻めへ転換」
新たな市場を新技術・新製品・新事業で獲得**

- 総コスト革新活動「原革30」の実効
- 為替と量の変動に強い体質への変革
- 新素材・新技術・新工法の開発
- 環境に優しい製品開発・ものづくり
- 海外事業の自立化と多客化
- コンプライアンスとリスクマネジメントの強化

4-4 OCEAN-15の達成状況



5-1 グローバル展開

ベルギー	
社名	Pacific Industries Europe NV/SA
所在	ブリュッセル市近郊
設立	2012年
資本金	1百万ユーロ
事業概要	TPMS等自動車部品の販売及び技術サービス
売上	—
社員	1名

中国			
社名	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司	太平洋工業(中国)投資有限公司	天津太平洋汽車部件有限公司
所在	湖南省長沙市	天津市	天津市
設立	2011年	2012年	2005年
資本金	2,300万US\$	3,000万US\$	4,580万US\$
事業概要	自動車用プレス部品の製造・販売	中国子会社の統括管理	自動車用プレス製品の製造・販売
売上	—	—	34億円
社員	30名	5名	240名

米国	
社名	Pacific Industries USA Inc.(持株会社) Pacific Manufacturing Ohio Inc.
所在	オハイオ州シンシナティ市
設立	1999年
資本金	4,710万US\$
事業概要	自動車用プレス製品・TPMS製品の製造・販売
売上	177億円
社員	500名

台湾	
社名	太平洋汽門工業股份有限公司
所在	台中市
設立	1984年
資本金	2.25億NT\$
事業概要	自動車用プレス製品・ハルブ関連製品の製造・販売
売上	46億円
社員	230名

タイ	
社名	Pacific Industries(Thailand) Co., Ltd.
所在	ウェルグロー(バンコクから東へ35km)
設立	1989年
資本金	3.6億バーツ
事業概要	ハルブ関連製品の製造・販売 (樹脂製品の製造・販売)
売上	13億円
社員	160名

日本			
社名	太平洋工業株式会社	太平洋産業株式会社	PECホールディングス株式会社
所在	岐阜県大垣市	岐阜県大垣市	岐阜県大垣市
設立	1930年	1974年	1961年
資本金	43億2,000万円	4,800万円	9,840万円
事業概要	自動車部品、電子機器製品等の製造ならびに販売	自動車用プレス製品の製造・販売	オートフーズ・電気小物製品の製造・販売
売上	599億円	12億円	155億円
社員	1,600名	25名	650名

韓国		
社名	太平洋バルブ工業株式会社	太平洋エアコントロール工業株式会社
所在	梁山市(釜山近郊)	牙山市(ソウルから約30分)
設立	1987年	2004年
資本金	80億ウォン	500億ウォン
事業概要	ハルブ関連製品の製造・販売	ALダイカスト カーエアコン部品の製造
売上	12億円	21億円
社員	80名	170名

社名	ピーアイシステム株式会社	太平洋開発株式会社 太養興産株式会社
所在	岐阜県大垣市	岐阜県大垣市
設立	1987年	1972年
資本金	3,500万円	14億2,800万円
事業概要	情報処理、ソフト開発・販売	ゴルフ場運営 (養老カントリークラブ)
売上	4億円	2億円
社員	55名	20名

プレス・樹脂製品事業
バルブ製品事業
情報・サービス事業

5-2 設備投資の主な内容

＜戦略投資の主な内容＞

(百万円)

	内容	2012年度	2013年度
日本	東北 プレスー貫工場建設	100	300
	超ハイテン加工対応		1,100
北米	米国子会社 TPMS現地生産化	900	750
アジア	中国子会社 天津プレス増設	400	1,350
	中国子会社 長沙プレス工場・設備		1,950
	タイ子会社 工場・樹脂設備	550	450
	韓国子会社 アルミダイカスト工場・設備	1,200	950

5-3 国内3極体制を強化

- プレス・樹脂製品事業
- バルブ製品事業

・生産設備を寄せ止めし、再配置すると共に、新規プレス機を導入し、国内3極体制を確立。

九州地区



九州工場

東北地区



栗原工場

若柳工場

2013年稼働開始予定

中部地区



本社・西大垣工場



東大垣工場



養老工場



北大垣工場



美濃工場

5-4 アジア事業の強化(韓国)

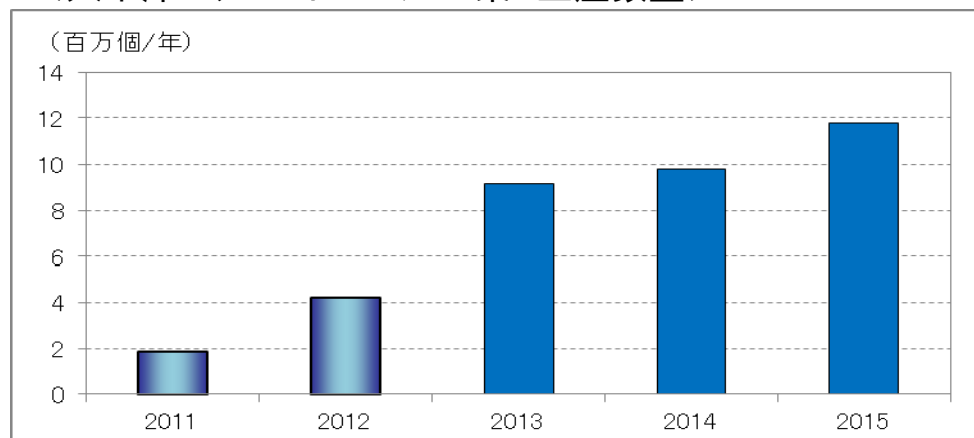
■太平洋エアコントロール工業で ALダイカスト加工の事業拡充

2011 年3月、現代自動車のSQ認定取得

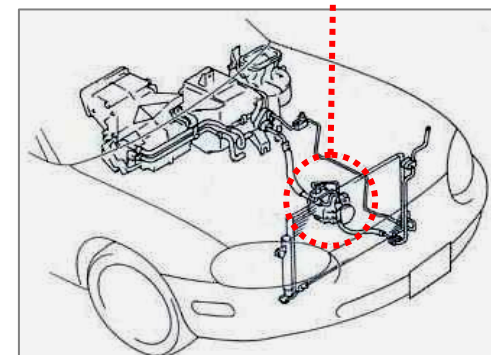
カーエアコン用コンプレッサーのケーシング部品を
ダイカストから切削加工まで一貫生産。

- ・2011年度に第3工場を建設し、DC 600万個/年の生産体制構築。
- ・2012年度にDC 900万個/年の生産体制構築。
- ・2013年度に第4工場を建設し、2015年度迄に、DC 1,200万個/年の生産体制を確立。

＜太平洋エアコントロール工業 生産数量＞



シリンダー



5-5 アジア事業の強化(中国プレス)

■ 中国事業の拡大に伴い、統括会社を設立

中国子会社2社の効率的な業務管理と、生産準備機能を強化

太平洋工業(中国)投資有限公司〔統括会社〕

- ・中国子会社の生産準備業務を統括
- ・金型を現地調達し、中国／日本／米国へ供給

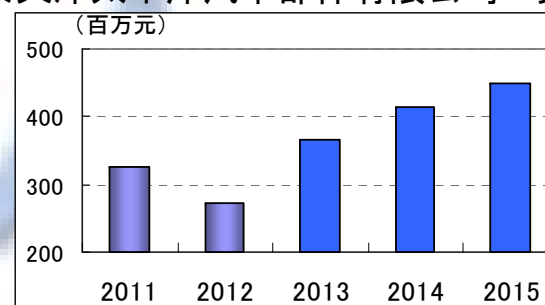
天津太平洋汽車部件有限公司

- ・長城汽車との取引開始
- ・S/A部品受注への対応

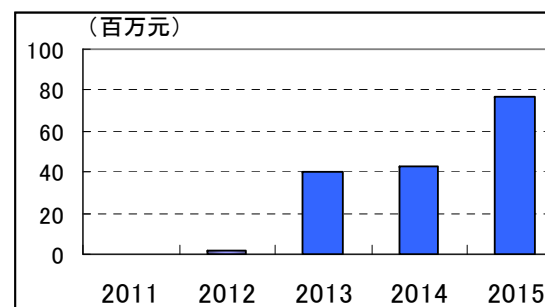
長沙太平洋半谷汽車部件有限公司

- ・広汽三菱との取引開始
- ・華中／華南地域への拡販

＜天津太平洋汽車部件有限公司 売上高＞



＜長沙太平洋半谷汽車部件有限公司 売上高＞



5-6 アジア事業の強化(タイ バルブ・樹脂)

■ アセアン市場における拡販のため工場を増設

Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd.

バルブ事業

バルブ事業を増強

サプライチェーン強化のため、日本に次ぐバルブの第2生産拠点として、一貫生産・能力増強を図る。

樹脂事業

新たに自動車用の樹脂製品事業を開始

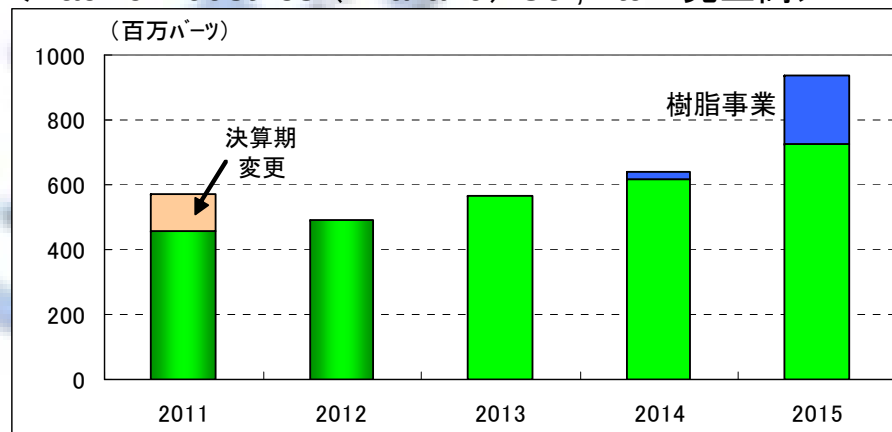
ホイールキャップ、センターオーナメントを生産し、日系自動車メーカー各社の現調化ニーズに対応。

《新工場の概要》

土地 : 10,700m²
建物 : 5,940m²
納入開始 : 2013年12月



＜Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd. 売上高＞





5-7 北米・欧州事業の拡充(TPMS)

■ TPMSの米国生産と欧州販売対応

為替／災害リスクを回避し、安定供給基盤を確立するため
米国でTPMS生産を開始



ベルギー

Pacific Industries Europe NV/SA.

欧州域内におけるTPMS装着
法規化に伴い、欧州自動車
メーカーへ供給

日本

太平洋工業株式会社

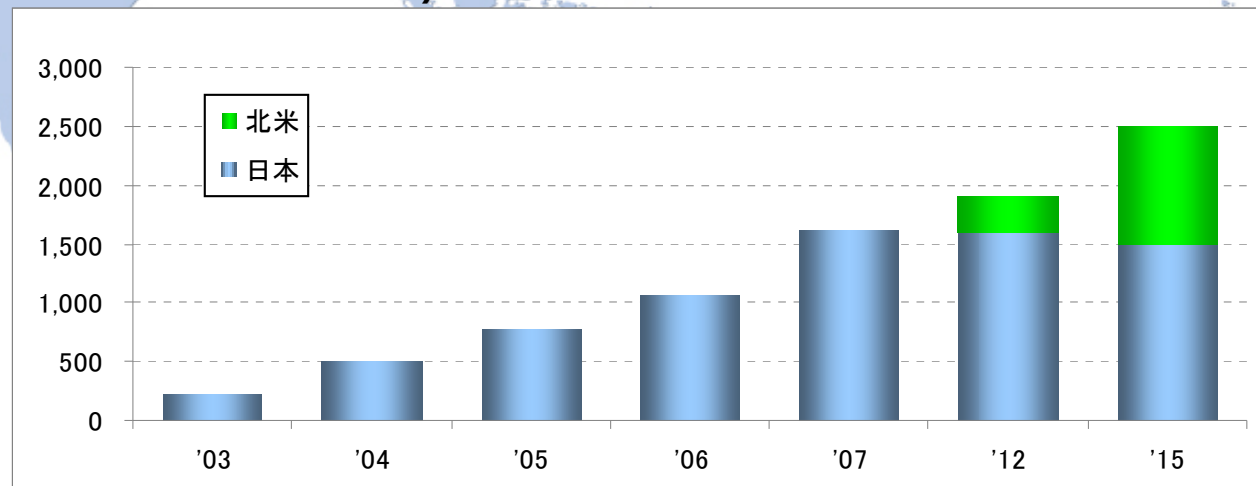
国内自動車メーカーを含め
全世界へ供給するマザー工場

米国

Pacific Manufacturing Ohio Inc.

北米自動車メーカーおよび
欧州自動車メーカーへ供給

<米国(PMO)と日本(PIC)の生産能力計画>



5-8 北米事業の強化

■カチオン電着塗装設備の導入

プレスから塗装までの一貫生産ラインを整備し、競争力の強化を図る

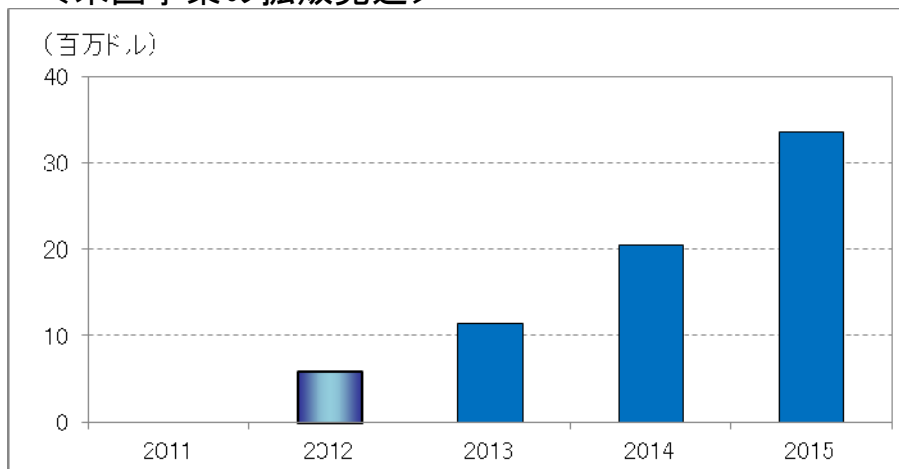
- ・投資額 : 2百万US\$
- ・稼働開始 : 2012年5月
- ・対象製品 : 自動車用プレス製品

■日系自動車メーカーとの取引拡充

北米における更なる事業の拡大および多客化を推進するため、地理的にも近隣の日系メーカーと取引を拡大

- ・取引先 : MMNA(北米三菱)
- ・製品納入開始 : 2012年7月
- ・取引製品 : 自動車用プレス製品
- ・取引先 : SIA(北米スバル)
- ・製品納入開始 : 2014年6月(予定)
- ・取引製品 : 自動車用樹脂製品

＜米国事業の拡販見込＞





5-9 製品開発

■ 新型クラウンのエンジンカバー開発

2013年1月:トヨタ自動車「プロジェクト賞」受賞

化学発泡成形と塗装レス技術を用いた世界初のエンジンカバーを開発。軽量化・低コスト化を実現。



■ 板金積層技術を用いたマスダンパの標準化

2013年2月:トヨタ自動車「部品標準化賞」受賞

自動車内のこもり音・異音対策に使われるマスダンパを標準化。原価低減、リードタイム短縮に貢献。



■ トヨタ初の衝突安全性を考慮したヒンジ開発

歩行者との衝突時、フード後方を瞬時に持ち上げフード下の空間を広げることで、歩行者の頭部への衝撃を緩和。



ポップアップフードヒンジ

5-10 環境保全とCSR

■太陽光発電システム導入

2013年3月、東大垣工場に太陽光発電システム導入。

有事には地域への電力供給を視野に入れ、今後、各工場に順次設置予定。



■CO₂削減と社会貢献活動

太平洋里山の森活動

地域と一体となった総合的な里山づくりを推進。



岐阜県環境推進協会主催

「平成25年度環境保全・公害防止功労表彰」受賞

